

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和3年12月16日(2021.12.16)

【公開番号】特開2020-111651(P2020-111651A)

【公開日】令和2年7月27日(2020.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-029

【出願番号】特願2019-2209(P2019-2209)

【国際特許分類】

C 0 9 D	201/00	(2006.01)
B 4 1 M	3/00	(2006.01)
C 0 9 D	7/61	(2018.01)
C 0 9 D	5/24	(2006.01)
C 0 9 D	5/25	(2006.01)
C 0 9 D	5/04	(2006.01)
C 0 9 D	7/65	(2018.01)
H 0 5 K	1/09	(2006.01)
B 0 5 D	7/24	(2006.01)
C 0 9 D	7/20	(2018.01)
B 0 5 C	5/00	(2006.01)

【F I】

C 0 9 D	201/00	
B 4 1 M	3/00	Z
C 0 9 D	7/61	
C 0 9 D	5/24	
C 0 9 D	5/25	
C 0 9 D	5/04	
C 0 9 D	7/65	
H 0 5 K	1/09	A
B 0 5 D	7/24	3 0 3 A
C 0 9 D	7/20	
B 0 5 C	5/00	1 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月8日(2021.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

次に、実施例1の塗布剤を使ってディスペンスコントローラーと卓上ロボットに搭載した縦500μm×横500μmの矩形の吐出口径を1000μmピッチで7本形成したラインコーダーヘッドから、誘電エラストマーフィルム(実施例1の基材)上へフィルム面から0.3mm吐出口を離した状態で、吐出圧360kPa、ヘッドスピード10mm/秒で6mm長のストライプパターンを吐出した。上記誘電エラストマーフィルム上への塗布剤のライン吐出には、高粘度液体制御可能なディスペンスコントローラー(武蔵エンジニアリング社製)とXYZ軸制御可能な卓上ロボットであるモーノ式のディスペンサー(武蔵エンジニアリング社製)を用いた。